

2016年新春旗開き

安保法制反対の闘いを通じて得た成果をさらに広めよう!

1月9日大井町中小企業センターに於いて、新幹線地本2016年新春旗開きを開催しました。

挨拶に立った成田委員長は「今年は、暴走する安倍政権を退陣に追い込む決戦の年となるだろう。昨年の安保法制反対の闘いを通じて、我々は多くの成果を得た。この成果を今年はもっと広げていく事が我々の課題となる。東海労も結成から25年を迎える節目の年でもある。さらに飛躍する年とするために闘いを推し進めていこう」と、力強く年頭にあたっての所感が述べられました。



今旗開きでは『マスコミ市民』石塚聡編集長を招き、「安保関連法制（戦争法）の総括と今後の闘いの方向性～いま、私たちは何をなすべきか～」と題する講演を受け、危機的・否定的な現状がリアルに語られるなかで、これに抗する闘いの方向性が示されました。

うねりをさらに大きく、たしろかある応援プロジェクトの成功が最大の課題

「アベノミクス」と称するまやかしの「経済政策」、さらに憲法をも踏みこむにじつての戦争法案の強行採決とやりたい放題の安倍政権、危機感を持つのは我々だけにとどまらずもはや一般の市民、学生や子供たちを抱えた母親たちまでもが立ち上がり、大きなうねりをつくり出しています。このうねりをさらに大きく前進させることがこの1年の課題となることは言うまでもありません。そのためには、当面するたしろかある応援プロジェクトの成功が最大の課題となります。職場からそして地域から連帯を強化して闘い抜く決意を共に確認し、盛会のうちに旗開きを終了しました。